

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより


No.54
平成30年
8月発行

6月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
上野原♡ハート

特集 うえのはらで頑張る人……	2
定例会で決まった主なこと…	4
議決結果一覧表……………	6
一般質問……………	7
閉会中審査……………	11
会期中審査……………	12
議会傍聴……………	15



うえのはらで頑張る人 vol.7 上野原♡ハート



東日本大震災被災地への支援・交流を中心に活動している任意団体で、中心メンバーは学校の同級生やママ友・PTA仲間との事です。
※イベント会場にてインタビューしました。

支援・活動を通じて「ふれあい」
上野原をもっと元気に!

活動の背景と目的をお話してください

■ 東日本大震災は未曾有の災害となり、国内外



の人々が大きな衝撃を受け、上野原でも多くの人々が義援金等を寄付されたことと思いません。しかし、「もっ

と何かできないものか」「直接的な支援がしたい」と考え、多くの市民が支援活動の輪に直接加わる事ができる仕組みを上野原に作ろうと思ひ、このプロジェクトを開始しました。そして、支援を通じて「ハート」の「ふれあい」を、活動を通じて上野原をもっと元気にしよう!と思ひ、上野原♡ハートを組織しました。

支援先はどのように決めましたか

■ 上野原市には姉妹都市がないことから、市民

共通の話題や、支援先とのつながりを考え、上野原がロケ地となったテレビドラマ「われら青春!」の主演、中村雅俊さんのふるさと宮城

県女川町を支援に選定しました。

どのような活動をしていますか



■ 当初は、上野原市民の皆様のご協力のもと、月一回のペー
スで女川に行き、避難所や仮設住宅へ野菜、果物、夏物寝具
等、主として物資の支援を行っていました。

■ その後、2011年の暮頃から、特定の仮設住宅へ定期的にお邪魔し、苦しい現状をひと時でも忘れる時間をもつて頂けるよう、クリスマス会やお花見会などを一緒に開催しました。その他に女川で開催されるイベントへの出店、ボランティアスタッフとしての協力などを続けています。



■ 2012年からは、女川の物産を上野原のイベントにて販売し、少しでも売り上げに貢献するとともに、上野原



へ女川の方をお招きして災害の状況や復興への取り組みについて話して頂き相互交流を図っています。

■ 心の交流を中心とした息の長い活動を目指しています。

活動を通して得たものは？

■ 主婦目線で女川の商品を売ることが自分への支援だと思っています。



■ 友達を持つことの大切さ。最悪の事があっても、前を向いて歩いていく事。復興したから終わりではなく、ずっとつながっていくことを大切にしていきたいです。

■ この活動を通して上野原の防災・まちづくりへつながりそうな新たな連携が生まれていると感じています。

■ この活動のおかげで、新しい出会いができました。



■ 様々な方々と交流の輪を広げること
で、上野原の新たな魅力・可能性を発見し、発信していきたいと思っています。

議会に対する想い・要望は？

■ 上野原を何とかしたい、という気持ちが活動の根底にあります。だから上野原♡ハート。



■ 市民の力や、意識をより高めるためには、行動する事です。その為のサポートが行政に、求められていると思います。

取材を終えて

実践している人でなければ発信できない熱い想いがみなぎっていた。行動力・発信力のすごさに感心した。単なるボランティアだけでは抱えきれない問題があり、行政としてどこまで手を差し伸べることができるかが大きな課題だと思った。



条例
制定

適正かつ健全な経営を行うため
審議会を設置

市簡易水道料金等審議会条例を制定し、簡易水道事業の運営について必要な審議を行う。当該料金設定等についての審議を設置することを目的として、市簡易水道料金等審議会を設置委員は15人以内で組織し、7月・8月・9月に1回ずつ開催し、11月に条例を整備し、12月に議会に諮り、来年4月から料金の改定を目指す予定です。

議案第59号 簡易水道料金等審議会条例

6月
定例会
定例会で決まった
主なこと

平成30年6月4日(月)から6月19日(火)までの16日間の会期で開催されました。

審議された議案

市長提出議案	25
請願	1
計	26
件	件

※議案名・議決結果等は6ページをご覧ください。



指定
管理

新湯治場秋山温泉施設の指定管理者
者を決定するものです

指定管理者

住所 静岡県静岡市

葵区鷹匠2丁目23番9号

名称 上野原市健康づくりパートナーズ

代表者名 静岡ビル保養株式会社

代表取締役 山本一衛氏

指定期間 平成30年7月1日～

平成35年3月31日

議案第69号 新湯治場秋山温泉施設の指定管理者の指定



条例
改正

市立中学校の部活動指導員を任用
することに伴い、指導員の報酬額
を決めるものです

教員の多忙化を解消するため、市立中学校の部活動において、民間による指導員を配置し、報酬額を時間額1600円の範囲内で、教育委員会が定めます。

議案第64号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

定例会で決まった主なこと



補正
予算

台風被害の荻野用水路復旧に 激甚災害の国庫補助金

農林水産施設災害復旧費
うち国庫補助金 2億1387万5千円
2億934万2千円
荻野用水路の災害復旧について、台風後の大雨で被害が拡大し、国庫補助金が見込めることになり、予算確保上、追加議案として上程されました。

議案第74号
一般会計補正予算(第2号)



補正
予算

橋梁^{りきょう}長寿命化修繕事業に 2587万7千円

防災や安全社会資本整備交付金を活用した計画の実施で、国の補助金の配分に応じ増額補正をするものです。島田地区白山橋は土地鑑定・測量・架替等を、秋山地区神野細野橋、巖地区千足橋は修繕工事を行うものです。

議案第65号
一般会計補正予算(第1号)

請願

行政書士法の趣旨の徹底と窓口指導の実施を求める請願は全会一致で採択されました

これは行政書士法や制度に基づかない者が、市役所に提出する各種申請及び届け出等に際し手続きを行っている現状について、法の趣旨の徹底とそれに沿った窓口指導を求めるものです。

請願第1号
上野原市の各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願

以上3名の選任について、全会一致で同意することになりました。

人事
案件

副市長、固定資産評価員、上野原 財産区管理委員会委員選任を同意

副市長 小早川浩氏
固定資産評価員 石井明文氏
上野原財産区管理委員 清水 正氏

議案第71号、第73号

契約
締結

緊急防災・減災事業債を活用

消防署用消防ポンプ自動車を買入れ、条件付き一般競争入札の結果、有限会社中村ポンプ工作所が4千482万円で落札しました。

議案第70号
消防署用消防ポンプ自動車購入契約締結

平成30年第2回定例会議決結果等一覧表

◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果	番号	付託	案件名	結果	
50	—	専決処分の承認を求めることについて (国民健康保険条例の一部を改正する 条例制定について)	承認	62	文教厚生	放課後児童健全育成事業の設備及び運 営に関する基準を定める条例の一部を 改正する条例制定について	原案可決	
51		専決処分の承認を求めることについて (後期高齢者医療に関する条例の一部を 改正する条例制定について)		63		指定地域密着型サービス事業者等の指 定に関する基準を定める条例の一部を 改正する条例制定について		
52		専決処分の承認を求めることについて (平成29年度一般会計補正予算(第10 号))		64		特別職の職員で非常勤のものの報酬及 び費用弁償に関する条例の一部を改正 する条例制定について		
53		専決処分の承認を求めることについて (平成29年度国民健康保険特別会計補 正予算(第6号))		65	総務産業 文教厚生	平成30年度一般会計補正予算 (第1号)		
54		専決処分の承認を求めることについて (平成29年度後期高齢者医療特別会計 補正予算(第4号))		66	文教厚生	平成30年度簡易水道事業特別会計補 正予算(第1号)		
55		専決処分の承認を求めることについて (平成29年度介護保険特別会計補正予 算(第6号))		67	—	平成29年度継続費繰越計算書の報告 について		受理
56		専決処分の承認を求めることについて (平成29年度公共下水道事業特別会計 補正予算(第4号))		68	—	平成29年度繰越明許費繰越計算書の 報告について		
57		専決処分の承認を求めることについて (税条例等の一部を改正する条例制定に ついて)		69	総務産業	新湯治場秋山温泉施設の指定管理者の 指定について		原案可決
58		専決処分の承認を求めることについて (国民健康保険税条例の一部を改正する 条例制定について)		70	—	消防署用消防ポンプ自動車購入契約締 結について		
59		文教厚生		簡易水道料金等審議会条例制定に ついて	原案可決	71		—
60	ひとり親家庭医療費助成に関する条例 の一部を改正する条例制定について		72	固定資産評価委員の選任の同意について				
61	特定教育・保育施設及び特定地域型保 育事業の運営に関する基準を定める条 例の一部を改正する条例制定について		73	上野原財産区管理会委員の選任の同意 について				
				74	—	平成30年度一般会計補正予算 (第2号)	原案可決	
				請願 1	総務産業	各機関における非行政書士行為排除の 徹底を求める請願	採択	

※ 正式な議案名から(上野原市)を省略しているものもあります。

※ 議案第74号は追加議案のため、委員会付託を省略しました。

コモアの問題 コモアブリッジについて

質問 市のコモアブリッジに対する位置づけは。

答弁 コモアブリッジは、青木建設と旧上野原町との間で、四方津駅とコモアの連絡通路として協定を結び、現在コモア管理組合の施設となっています。市道化については、コモア施設問題協議会と協議を行ってきたが、道路法上の制約や多額のランニングコストの負担等大きな課題となっていることから、道路施設として公共物と位置付ける事は難しい現状であります。

質問

でも方法があるか、研究を重ねているところですか。市道化認定について。

答弁 山梨総研の結果を踏まえて、課題が大きいことから継続的な管理は負担が大きいため引き受け出来ない状態になっています。しかしコモアの皆様にとつて、大変心配している事は承知していますので、引き続き協議を行ってまいりたいと考えています。

他に、教員勤務実態調査、四方津駅について質問しました。

質問 激甚災害時の復旧対策方は。

答弁

激甚災害には、災害復旧と災害復興があります。コモアブリッジについては、どのような救済方法があるか、市も真剣に取り組んでいるところであり、国や県、関係官庁との協議をしているところで、道路認定以外



川島 秀夫

認可地縁団体について

質問 認可地縁団体の市内での設立団体は現在、何団体か。

答弁 市内では11団体が設置。認可地縁団体とは、「町又は字の区域、その他市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体は、地域的な共同活動のための不動産又は、不動産に関する権利等を保有するため、市町村長の認可を受けたときは、その規約に定める目的の範囲内において、権利を有し、義務を負う。」と地方自治法第260条の2の規定に書かれています。

質問 団体の状態です。団体設立のため積極的な市の支援と指導体制は。

答弁 認可地縁団体の設立の目的が法の理念に基づいているか否かの確認が必要ですが、規約の自身は総務課に相談してください。各団体では申請の是非や内容等について総会の承認が必要です。申請行為はその後進めてください。

意見

相続対策として共有不動産は団体名義にしておくことが肝要と考えます。

質問 団体を計画している行政区は他にいくつあるか。

答弁 認可地縁団体の申請を検討している行政区は、現在、2団体です。申請時には、必要書類等の確認や規約の内容、不動産の内容など、団体の担当者との相談をしながら現在進めてい



尾形 幸召

上野原ごども園について



杉本公文

質問

園内の構内通路が個人宅への進入路として使用されている。これは法的に違法であるとして以前より指摘してきたが、問題ないとする市の答弁の法的な根拠と理由を伺います。

質問

答弁

自治法の238条の4第7項、「行政財産は、その用途又は目的を妨げない限度に於いて、その使用を許可する事ができる。」という事です。

質問

質問

238条の4第1項では、「次項から第4項までに定めるのを除くほか私権を設定する事が出来ない」とされ、4項までの内容は、相手が国や公共団体以外には権利の設定は出来ないとされています。通路の使用を認められた契約である覚書は私権の設定ではないのか。

答弁

市長が契約した覚書の第1条は、「道路を生活の用に供する事が出来るものとする。ただし、その使用権を譲渡若しくは転貸しないものとする。」と権利が明記されている。第7項を根拠に答弁しているが、第7項は第1項の規定に該当せず個人に通路の使用権も設定することは出来ないはずですが、使用権は私権（地役権）の設定となり得るが、答弁を求めます。

答弁

使用を許可するという事であり、私権を設定したというものではありません。



市内ゴルフ場と市の連携について



東山洋昭

質問

経済課の29年度の資料によると市内6ヶ所のゴルフ場の年間利用者は約25万6000人います。また、あるゴルフ場では利用者の内90%以上が県外の方とのことです。市にはゴルフ場利用税が年間1億1000万円入り、その他法人市民税、固定資産税も入ってきます。市民の雇用も確保がされている現状を踏まえた連携策は、市内外から多くの利用者があるゴルフ場との連携は、PRする絶好の場所であるため、改めて事業者間との連携について検討していきます。またその中で市が特産品化を進めているキヌアについても、今後は取り決まができればと考えています。

質問

答弁

数年前に国の補助事業として採択されてキヌアを市の特産品とすべく、種まきからの成長過程、連作障害の研究、収穫量、品質と調査そして収穫後の製品化まで考え、その施設や専用の機械・器具を既に市では用意してあります。キヌア自体はまだまだ認知度も低くて、栽培も容易ではありませんが、ゴルフ場を始めとする各分野に協力していただき、キヌアの商品化と販売拡大をより高めていくべきと考えます。

意見

私もキヌアの特産品化が一つの活性化の大きなヒントになるのではないかと考え



移住・定住対策について
周辺市町村の観光協会との連携について



長田喜巳夫

質問 空き家バンクへの登録を増やす策は。

やす策は。

意見

考えています。

答弁

相続などの権利関係の相談、リフォーム補助金の活用など所有者の事情に応じた対応を親身に行い、登録の促進に努めていきます。

質問

定住への手段として改めて捉えることが必要であり、地域を魅力的につくる視点からも整備を再度求める。

質問

売買物件もリフォーム補助金の対象とすべきだが。

答弁

周辺市町村の観光協会との連携と交流人口の状況は。郡内市町村との連携や相模原市、八王子市、中央線

答弁

引き続き検討し対応していきます。

質問

農園付き定住者誘致事業への取り組みは。

答弁

先進事例を参考に、移住・定住対策の推進に努め、遊休農地解消や新規就農にも取り組めます。

意見

西多摩地域との連携を早急に詰めるべきです。

質問

滞在型市民農園の整備は、滞在から定住につながる手段であり、各地の事例は大様々です。モデルとして小規模から実施すべきだが。

他に、廃校の有効活用、市民活動支援事業について質問しました。

答弁

桐原、神野の市民農園の利用率の向上を図り、その先サービスの充実した滞在型市民農園に結び付けたいと



図書館の充実を



川田好博

質問

文教厚生常任委員会で図書館の視察を行った。市立図書館は施設的に不十分だと思いが。

質問

答弁

市立図書館は今年で27年目です。その後、大規模な図書館が次々に建設されました。他館と比較しても面的等にも十分とは言えない状況です。

答弁

上野原西小では、PTAが資源ごみの回収をして、図書購入のために使っている。図書購入費用の充実が必要だと思われるが。

質問

専用の閲覧室、学習室がないことに対して、どのように考えるか。

要望

デジタル教科書購入などが膨らんでいます。読書が好きな子どもなどの願いが叶うようにしていきたい。西小にしても、西中にしても、学校司書、校長などが、どうやったら子どもが読書をするだろうか、工夫をしている。そうした工夫にやるべきか、工夫を要している。そうした工夫にやるべきか、工夫を要している。そうした工夫にやるべきか、工夫を要している。

答弁

夏休みなどの繁忙期には、会議室を学習室に開放する等の対応を行っています。

質問

蔵書数は約13万冊、そのうち閉架図書は約7万冊。閉架書庫はどこに。

答弁

閉架書庫は、旧平和中の2階空き教室を4部屋使っています。

要望

蔵書の半分は旧平和中であり、すぐには利用できない。学習室についても、市役所内も含めて工夫されたい。



予防接種について

質問 予防接種の種類と接種率は。

答弁 予防接種には、定期接種と

任意接種があり、定期接種には公費を投入しているので接種率はわかりませんが、任意接種には助成していませんので、接種率は把握していません。

質問 任意接種の中で、特にインフルエンザ予防接種について、高齢者には助成しているが、子どもにも助成していない理由は。

過去において、重篤な副作用の報告を受け、定期接種から外れたという経緯があり、それらを考慮して助成していません。

答弁

市長の政策として、子育て環境の整備に一生懸命取り組み、その一環として中学3年までの医療費無料化は山梨県内で一番に実施しました。しかし、インフルエンザの助成に関しては、山梨東部では一番遅れをとって

質問

いる。ドクターとしてどういう見解を持っているか。小児に関する助成については、重篤な副作用の意見が厚労省に届いた結果、定期接種から外れた部分がありますが、現実には今年などは非常に流行したわけですので、これから前向きな方向で、十分に周知しながら、副作用の事も含め検討していきたいと思えます。

答弁

公衆衛生を守る為、蔓延防止の為に前向きに取り組んでいただきたい。他に、情報通信基盤整備事業、防災力について質問しました。

意見

他に、情報通信基盤整備事業、防災力について質問しました。



久嶋成美

超高齢化社会に備えた

今後の高齢者福祉の構築について

質問

地域包括ケアシステムを構築するうえで、介護人材の確保と人材育成は喫緊の課題です。昨年12月定例会において「介護従事者の確保」を訴えましたが、その後の進捗状況は。

答弁

現在行っておりません。今後、各事業所のニーズ調査を行い「ヘルパー養成講座」開催に向けて、東部広域連合と協議を行う予定です。

質問

本年度改正の「介護保険法」は、高齢者の自立支援・重度化防止に向けた取り組みが定められている。いわゆる地域の支え合いや仕組み作りの構築です。本市として、今後の「介護予防・日常生活支援事業」の自身は。

答弁

4月より社会福祉協議会の協力を得て、「通所サービスク事業」を開始しました。要支援1・要介護2または、65歳以上でチェックリストに該当する方を対象に、専

質問

門スタッフが運動マシン等使い認知症予防や体の機能促進のための事業です。今後、益々高齢化が進み、介護と医療の一体化した支援が必要になる。介護と連携した在宅医療体制は。

答弁

現在、在宅医療を求める全体的な状況は、在宅医療を担う医師等を中心に関係機関との連携に努め、要介護認定者等が最期まで住み慣れた地域で暮らしていけるよう推進していきます。

他に、子どもの読書推進活動について質問しました。



遠藤美智子



議会活性化検討特別委員会



議会活性化検討特別委員会では、議会組織の在り方として議員報酬と議員定数について調査研究を進めてきました。これまでの推移や、県内13市の状況、人口2万5000人以下の市などを考慮しながら検討をした結果、議員定数は常任委員会の構成や広域な本市の地理的条件で市民の意見を反映させるためには、現状維持の16人が適当である。また、議員報酬については、財政面と議員定数の現状維持を踏まえ、引き上げは見送るべきであるとの意見が多数を占め、共に現状維持とすることと決めました。

委員会では、議会活性化のために、議会運営と活動の在り方について、今後も精査・研究をし、より内容を調査し、最終報告に向け、さらに議論を重ねていくこととしました。

総務産業常任委員会

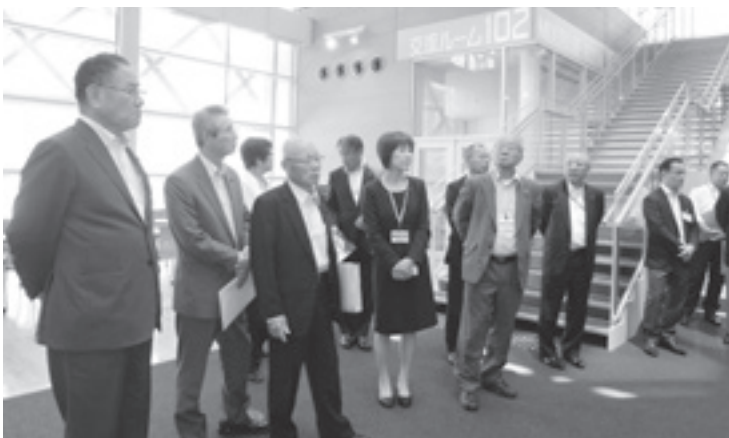
温泉施設の指定管理について調査するため、先進的な取り組みを行っている宇都宮市と北茨城市の温泉施設視察を行いました。

「宇都宮市茂原健康交流センター」は、現在の指定管理者に移行後、年々利用者が増加していて、集客のための年間プログラムの作成や、低価格での運用が功を奏しているとの事でした。

北茨城市の「中郷温泉 通りゃんせ」は、小規模の温泉施設で、毎日全浴槽水を交換し、衛生面と泉質の良さをアピールすることで、集客の効果を上げていました。



文教厚生常任委員会



閉会中の継続調査として「図書館の機能及び運営」について、山梨県立図書館、韮崎市立大村記念図書館、大月市立図書館を視察してきました。

駅に近いという立地を生かしたり、ICタグの導入、指定管理者による運営、図書館キャラクターの活用等それぞれの強みを生かした図書館運営を行っていました。これらの事例を参考にしながら、取り入れ可能なものについては積極的に導入し活用するよう当局に要望しました。

総務産業常任委員会

6月6日、委員会を開催し、付託された4議案を審査しました。主な質疑・答弁等を、要約してお伝えします。

pick up!

上野原市新湯治場秋山温泉施設の指定管理者の指定について

Q 契約の中身は。
A 指定管理料が、3240万円です、今まで行っていた温泉・プール事業はそのまま継続するとの事です。

Q 従業員の雇用はどうなるのか。
A 募集要項の中でも地元雇用を優先してほしい旨の記載をしており、今いる従業員の方に

は、同指定管理者がヒアリングを行って決めるとの事です。

pick up!

消防署用消防ポンプ自動車購入契約締結について

Q 古いポンプ自動車を消防団へ引き渡すことは考えていないのか。
A 長年使用したものについては、部品等の老朽化が進んでいるので、引き渡しは行っていません。

Q 本市にはポンプ自動車何台あるのか。
A 本署に2台、秋山と柵原に各1台ずつあります。



審査結果

3案件については、採決の結果、いずれも全会一致で原案通り可決すべきものと決定しました。

請願第1号「上野原市各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願」については、

正しい手続きを踏むべきものとの意見を踏まえ、全会一致で採択すべきものと決定しました。

現地調査

審査終了後、所管事務調査として、「上野原市新湯治場秋山温泉施設」の状況について、現地調査を行いました。



委員長	岡部 幸喜
副委員長	川島 秀夫
委員	白鳥 純雄
〃	杉本 公文
〃	田中 英明
〃	杉本 友栄
〃	鷹取 偉一
〃	尾形 重寅

文教厚生常任委員会

6月8日、委員会を開催し、付託された8議案を審査しました。主な質疑・答弁等を要約してお伝えします。

意見

料金を改定するうえで、判断が難しい面があるので、地方自治法や地方財政法等の見識を持った方を選定する必要がある。

pick up!

上野原市簡易水道料金等審議会条例制定

Q 審議会は年に何回開催するのか、スケジュールはどうか、スケジュールはどうなっているか。

A 審議会は7月・8月・9月に1回ずつ開催し、11月に条例を整備し、12月に議会に諮り来年の4月から料金の改定を行う流れです。



pick up!

上野原市特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

Q 報酬は上限の1600円にするのか。

A その金額に決定します。

意見

報酬のみの形状ではなく、部活動における公式戦等の引率の為の旅費も出す方向で検討してほしい、また教員の部活動以外の業務内容についても、オーバーワークにならないように考慮してもらいたい。

補正予算については、

*民生委員・児童委員協議会が、3年に1度実施する活動研修に伴う職員随行旅費及び活動研修に対する補助金について53万9000円。

*上野原市簡易水道料金等審議会条例の整備に伴う委員報酬及び旅費として10万2000円と秋山西部簡易水道浜沢地区補償工事及び本管移設補償工事の工事請負費914万4000円等です。

審査結果

以上、当局提出8議案について採決した結果、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

委員長	久嶋 成美
副委員長	遠藤美智子
委員	川田 好博
〃	東山 洋昭
〃	小俣 修
〃	長田喜巳夫
〃	山口 好昭
〃	尾形 幸召

市議会BCP（業務継続計画）

上野原市議会では、大規模災害等の緊急の事態が発生した際に、市議会の対応について必要な事項を定め、もって被害の拡大防止及び議会機能の早期回復を図ることができるよう、市議会BCP（業務継続計画）と災害時行動計画を策定しました。

災害時においては、初期対応の重要性が言われている中、災害情報の収集や議員の参集、議会における協議・審査を開始す

ることで、市民ニーズを的確に反映した復旧・復興に取り組むことができるようにするものです。

具体的項目は、想定する災害、議会の体制、事務局の体制、行動基準、情報、環境整備で、策定に当たっては、議員全員で検討してきました。今後は、本計画を踏まえた報告訓練や参集訓練を実施し、より実効性を高め、運用を図ってまいります。



AED（救助訓練）

市議会では、7月17日、市消防本部において、議員自身に応急手当の技能を身につけてもらおうと、消防職員の指導により救命講習を受講しました。

当日は、15名が応急手当の導入講習である「救命入門コース」において、座学により基礎知識などを学んだ後、4班に分かれ、人形を使っての心肺蘇生のための胸骨圧迫の実技とAEDを使用する実技を行い、応急手当を学びました。



平成30年7月豪雨被害に対する義援金を送りました

平成30年7月の西日本を中心とした豪雨により被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

上野原市議会では、全国市議会議長会を通し被災地に対して義援金を送りました。

議員一同、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。



議員表彰

この度、全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会より、次の方々が表彰されました。

■山梨県市議会議長会感謝状
(市議会副議長)

■全国市議会議長会感謝状
(市議会議長会評議員)

■全国市議会議長会表彰
(継続15年)

■山梨県市議会議長会感謝状
(市議会議長)



川島秀夫議員



尾形幸召議員



杉本公文議員

上野原高校生が 議会傍聴

市の課題を身近に感じる

6月13日の一般質問に、上野原高校3年生の生徒28名が傍聴に訪れました。

上野原市の人口減少対策や上野原こども園等についての質問や答弁を聞き、真剣にメモを取る様子が伺えました。



私は初めて議会をみました。話の内容はすべて理解できたわけではないけれど、いつも議会はこのような話し合いをしているんだと雰囲気がかつて良かったです。私は大月市に住んでいて上野原市議会を見ることにあまり意味ないと最初は思っていたけれど、上野原高校に通う生徒として議会を聞くことも大切だと思ったし、18才になつて選挙権を持つことになったのでとても良い機会になりました。



上野原高校3年
小俣愛優花さん

市民の声

上野原写真クラブ

上野原写真クラブでは15名のメンバーで活動しております。毎月1、2回の定例会を実施しており、定例会をとおして各個人のレベルアップも行っています。今回は市役所内のロビーにおいて6月1日～8日まで、第3回の写真展を行いました。この時も多くの方に観て頂き大変ありがたく

思っております。自然は、春夏秋冬各季節、朝昼夕がた夜、雨風の日と一日中変化をしております。又、季節の花もあり、そんないろいろな変化を写真にしております。また、9月の牛倉神社祭典ではかなりのにぎわいがあります。そして市内のイベント、催しもあります。この環境を大切に沢山の記録を残す、このことも上野原の大切な資料になるはず。今後とも上野原の環境をいっぱい求め、素晴らしい上野原を見つけていきたいと思っています。



上野原写真クラブ 代表 長田 勇一さん

9月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
9/2	3	4	5	6	7	8
	本会議 (初日)	議案調査	総務産業 常任委員会	議案調査	文教厚生 常任委員会	
9	10	11	12	13	14	15
	議案調査	議案調査	一般質問	一般質問	一般質問 (予備日)	
16	17	18	19	20	21	22
	敬老の日	決算特別 委員会	決算特別 委員会	決算特別 委員会 (総括)	議案調査	
23	24	25	26	27	28	29
秋分の日	振替休日	議案調査	本会議 (最終日)			

一般質問傍聴 託児サービスを ご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の一週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

※通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

編集後記

今年は、平年より一か月も早い梅雨明けからまもなく、西日本を中心に平成史上記録的豪雨により甚大な被害をもたらしました。

犠牲になられた方々のご冥福と被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

現在、学校は夏休みに入り行楽を予定されている方もいるかと思えます。これから本格的な猛暑・台風の季節に向かいます。

近年、頻繁に起こる自然災害の発生状況を考える時、防災の日を前に改めて一人一人が「自分の身は自分で守る」を肝に銘じたいと思うところです。
(遠藤)

議会だより編集常任委員会
委員長 東山 洋昭
副委員長 川田 好博
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子
委員 久嶋 成美
委員 川島 秀夫

